



発行者
社会福祉法人三矢会太田川学園
理事長 内田 健二
編集委員会
太田川学園広報委員会
広島市安佐南区伴東三丁目16-1
電話 (082) 848-0130
fax (082) 848-0810

就任挨拶



理事長
内田 健二

この度、橋本名誉理事長の後任として、当法人の第九代理事長に就任しました。

太田川学園は、橋本名誉理事長が、四十七年、手塩にかけて育てたものです。私は、この学園を、そのよって立つところを見失うことなく、維持・発展させていくために、微力ではあります。が、全力で取り組んでいきたいと思います。

社会福祉法人は今、大きな曲がり角に来ています。太田川学園はこれまで、橋本名誉理事長の強烈な個性と抜群の行動力によって、順調に成長してきました。しかしながら、社会福祉法人制度の見直し等が進み、今までどおりの事業運営ができなくなっていくものと思われます。

そのような中で、太田川学園は、これから足元をしっかりと固めていかないと、今までこそ、広島県では有数の規模を誇っているものの、将来的に生き残れない可能性があります。

私は、当学園の足元を固めていくために、「ビジョンの明確化」、「人材育成」、「地域や業界とのつながりの見直し」、「意思決定の仕方や業務配分の見直し」といったところから着手します。このことは、さきに皆さんに申し上げたとおりです。

学園は、組織の力で動くものです。その組織を支える職員一人ひとりの力を合わせ、より大きな力にしていきたいと考えています。

職員の皆さんの御協力を願っています。



豊平グリーンハイツ開業

四月一日、指定障害者支援施設・豊平グリーンハイツ（定員三十人）が、めでたく開設の運びとなりました。今回、豊平グリーンハイツに配属となった職員は、ゼロから始めて、新しい歴史を刻んでいくことになります。

大変な仕事ですが、工夫をして、この新しい施設に魂を吹き込みたいのです。

豊平グリーンハイツは、既設の豊平作業所、豊平ケアホームと共に、「北広島町施設」として、当学園の一大拠点をなすものです。

椿本園長のリーダーシップの下、これら三施設が一体となって、それなりの独自性を生み出すことができれば、と期待は高まります。

当施設相談窓口

広報委員会一同

当施設における苦情の受付

窓口担当者 太田川学園相談支援事業所所長 一丸善樹
御利用時間 9:00～17:00（土日祝祭日を除く。）
電話番号 (082) 848-0130
第三者委員 岡田孝章
田中豊実 学校法人武田学園理事
中村武雄 一般社団法人尚志会常務理事

新しい年度を迎えるました。本年度は、心も新たに、多くの方々に御協力をいただき、多彩な記事をタイマーに紹介いたします。また、新機軸を打ち出すとともに、新たな力とともに、新しくお願いします。よろしくお願いします。

編集後記

★ 平成27年2月2日から本部の所在地の表示が変更になりました。

〒731-3164
広島市安佐南区伴東三丁目16番1号

★ 社会福祉法人 三矢会 太田川学園のホームページを開設しました。

アドレス : otagawagakuen.or.jp

各施設の情報を掲載中
質問やお問い合わせはこのアドレスへ…

第一回 広島県知的障害者福祉協会作品展

『どや、〇〇じゅるー!』

平成二十七年一月十一日(日)から八日間、福山市鞆の浦にある鞆の津ミュージアムで、各事業所や家庭で創作される障害のある人たちの作品を紹介する作品展があり、太田川学園から四名の利用者の方が出展されました。

今後も各種展示会に参加し、利用者の創作意欲の向上を図るとともに、多くの方々に、障害のある人たちの生活の中から生まれる多様な創作物を通して、その中にある様々な価値観や生き方を感じてもらえばと考えています。



<布団奉仕活動>

亀山女性会（現会長・大田隆子）の皆様による布団の打ち返しなどの作業奉仕が、平成26年9月8日(月)、当学園で行われました。この奉仕活動は、昭和52年から始まり、38年にわたって続けてられています。

利用者の安全で快適な居住環境を支えていただいていることに對し、深く敬意と感謝の意を表する次第です。

<太田川学園作品展>

平成27年3月7日(土)に太田川学園作品展を開催しました。平成26年度は、悪天候や広島土砂災害により、予定していた行事が中止となりましたので、その代替行事として企画したものです。

地域交流センターでは、ハンドベル・和太鼓・琉球舞踊などの発表があったほか、日々各施設の日中活動で作成した作品の展示・販売がありました。当日は、多くの方々が来園され、大盛況のうちに終わりました。



給食センターでは、次のようなことに注意して給食を行っています。

《給食献立について》

できるだけ多くの食品を使用することで、栄養をバランスよく摂取できるようにしています。個人に合った栄養量を満たすことで、栄養過不足がないようにしています。家庭的な料理を大切にしています。旬の野菜や果物を取り入れ、季節感を味わえるようにしています。食べやすい料理法などで、栄養摂取が低下しないようにしています。

利用者によっては、嚥下機能が低下して、飲み込みづらい方もあります。そのため嚥下食(なめらか食)を提供しています。

《感染予防について》

給食では衛生面に注意して調理していますが、万が一の食中毒を考慮し、喫食は盛り付け2時間以内に食べることを厳守しています。毎食のお茶はカテキン含有の多い緑茶を使用して感染予防に努めています。また感染症が発生した場合は、発生時対応マニュアルを実行し、拡大防止に努めています。

利用者の皆さんに喜んで食べていただき、健康に過ごしていただけるよう、これからも注意していきたいと思います。



褒章受章記念祝賀会



藍綬褒章を受章して

太田川学園は、地域の皆様の熱い思いに支えられて、47年前に発足したのですが、創設当初から運営に関わる者として、よくぞここまで来たものと、感慨もひとしおです。

図らずも今回、私の長年の取組を、藍綬褒章という形で評価していただいたことは、この上ない喜びです。

去る2月15日には、私の受章を記念して、盛大な祝賀会を催していただき、御来賓の皆様から、身に余るお言葉を頂戴して、感激これに過ぎるものはありません。

これも、御指導いただいた行政関係者を始め、学園を温かく見守ってくださった地域の皆様、さらには保護者各位のおかげであり、改めて、深く敬意と感謝の意を表します。

この褒章は、私一人に与えられるものではなく、学園創設以来、共に知的障害を持つ人々の福祉の向上に取り組んできた、多くの同僚や先輩への栄誉と受け止め、謹んでお受けすることとした次第です。

今回の受章が、学園の職員に限らず、知的障害を持つ人々の福祉に携わる方々にとって、大きな励みとなることを、願ってやみません。

名譽理事長 橋 本 忠 教